

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業統括推進本部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	118	10.4	△71	—	△63	—	△62	—
26年3月期第1四半期	107	—	△61	—	△60	—	△61	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △63百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△9.57	—
26年3月期第1四半期	△9.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,022	2,731	89.5
26年3月期	3,147	2,794	87.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,706百万円 26年3月期 2,767百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	34.2	10	—	10	—	3	—	0.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,547,590 株	26年3月期	6,547,590 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	190 株	26年3月期	190 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	6,547,400 株	26年3月期1Q	6,163,860 株

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、当社グループのセグメント別の売上高は、下記のとおりとなりました。

#### ・診断・試薬事業

研究用試薬関連においては、国内販売は、主力の受託サービスにおいて大口顧客である製薬企業等からの受注の伸び悩みにより売上高が減少いたしました。海外販売は、前事業年度末の駆け込み需要の反動の影響等により、EIA測定キットや抗体の自社製品の売上高が減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は72,521千円（前年同期比15.6%減）となりました。なお、当事業の国内販売につきましては、タカラバイオ株式会社と独占販売契約を継続しております。

医薬用関連においては、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの販売が機材の遅れ等の影響により、月ずれが発生し、売上高が減少いたしました。一方、体外診断用医薬品原料の受託製造業務は順調に進行しております。その結果、売上高は13,048千円（前年同期比28.0%減）となりました。なお、当事業においては、新規治療薬シーズの開発や体外診断用医薬品の製品開発を行っており、成人T細胞白血病の原因ウィルスであるHTLV-1の研究開発や難聴・めまいの原因を生化学的に診断できる世界初のバイオマーカーの研究開発等を進めております。

その結果、研究用試薬関連、医薬用関連を合わせた当セグメントの売上高は85,570千円（前年同期比17.8%減）となりました。

#### ・遺伝子組換えカイコ事業

当社は、カイコの繭からヒト型フィブリノゲンを効率よく作製する画期的な方法の開発に成功し、アステラス製薬株式会社とヒト型フィブリノゲンを原料とした医薬品の製品化を目指しております。平成25年12月25日に発表いたしましたアステラス製薬株式会社との共同研究は、平成26年7月10日「アステラス製薬株式会社との共同研究の進捗状況についてのお知らせ」でお知らせしたとおり、本共同研究は、その第一次ステップであるヒト型フィブリノゲンの「性状に関する基礎検討」が予定通り終了し、第二次ステップである「医薬品に向けた製造方法の検討」に進んでおります。現在の予定では、当連結会計年度末までには終了し、要件を満たし次第、速やかに医薬品用途での開発等の締結に向けた協議を開始いたします。当社とアステラス製薬株式会社は、遺伝子組換えカイコの生産系により、安全なヒト型フィブリノゲンの安定供給を実現させ、2020年頃に本製品を上市することを目指しております。また、そのほかの共同研究や遺伝子組換えカイコ関連受託サービスにつきましても順調に進行しております。その結果、当セグメントの売上高は3,730千円（前年同期比3.8%増）となりました。なお、当セグメントにおいては、将来に向けた重点的な研究開発等を積極的に進めており、優秀な人材を採用し、医薬品原料の生産拠点及び付属設備への投資を行い、医薬品原料生産にむけた、体制の構築を進めてまいります。

#### ・検査事業

当社グループが所有する脂質代謝解析技術を利用した生活習慣病領域での創薬・研究支援に加え予防・診断支援などの需要が増加しており、積極的に人材採用及び設備投資を実施し、売上拡大を目指し人材育成に注力しております。その結果、当セグメントの売上高は28,973千円となりました。

なお、当セグメントは前連結会計年度の第1四半期連結会計期間の末日より連結子会社である株式会社スカイライト・バイオテックの連結を開始しておりますので、前年同期の比較はありません。

#### ・化粧品関連事業

「すべての化粧品にネオシルク<sup>®</sup>ーヒトコラーゲンⅠ」をスローガンに掲げております。まずは、ネオシルク<sup>®</sup>ーヒトコラーゲンの素晴らしさを消費者の皆様に理解していただくために、量販店を中心として販売活動を行う株式会社エムコスメティックスにより、販売開始の準備を進めてまいりました。海外販売用及び量販店用の製品化が遅れておりましたが、当第1四半期連結累計期間より本格的な販売促進活動を実施しております。その結果、当セグメントの売上高は768千円となりました。

なお、当セグメントは当第1四半期連結会計期間より新しいセグメントとしており、また前連結会計年度の第3四半期連結会計期間の末日より連結子会社である株式会社エムコスメティックスの連結を開始しておりますので、前年同期の比較はありません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、118,861千円（前年同期比10.4%増）となりました。

経費面においては、共同研究開発における共同研究先からの負担金があったものの、化粧品関連事業において販売活動の遅れにより販管費が先行したことや検査事業への先行投資により減価償却費が増加いたしました。その結果71,259千円の営業損失（前年同期は61,544千円の営業損失）、63,745千円の経常損失（前年同期は60,854千円の経常損失）、62,715千円の四半期純損失（前年同期は61,637千円の四半期純損失）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比3.9%減の3,022,933千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

「現金及び預金」につきましては売上債権の回収が進んだものの四半期純損失の計上等により25,300千円の減少、「受取手形及び売掛金」につきましては前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に比べ売上の計上が減少したこと等から72,074千円の減少となっております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比17.2%減の291,799千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

「その他」(流動負債)が前連結会計年度の未払債務の支払や法人税等の納付等により40,685千円減少、「長期借入金」(1年内返済予定の長期借入金含む)が返済により11,661千円減少となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比2.3%減の2,731,133千円となりました。これは主に四半期純損失の計上によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,194,909	1,169,609
受取手形及び売掛金	178,148	106,074
商品及び製品	73,428	74,089
仕掛品	125,497	125,235
原材料及び貯蔵品	83,421	82,930
その他	32,302	26,089
流動資産合計	1,687,708	1,584,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	506,611	498,474
機械装置及び運搬具（純額）	21,573	20,577
土地	362,687	362,687
その他（純額）	91,047	84,660
有形固定資産合計	981,920	966,399
無形固定資産		
のれん	183,958	180,872
その他	35,664	30,424
無形固定資産合計	219,623	211,296
投資その他の資産		
投資有価証券	213,338	214,850
その他	44,504	46,357
投資その他の資産合計	257,842	261,207
固定資産合計	1,459,386	1,438,903
資産合計	3,147,094	3,022,933
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,065	9,127
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	46,644	46,644
その他	110,519	69,833
流動負債合計	274,228	225,604
固定負債		
長期借入金	77,271	65,610
その他	857	584
固定負債合計	78,128	66,194
負債合計	352,357	291,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,846,099	1,846,099
資本剰余金	878,479	878,479
利益剰余金	50,393	△12,322
自己株式	△73	△73
株主資本合計	2,774,898	2,712,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,344	△5,832
その他の包括利益累計額合計	△7,344	△5,832
新株予約権	7,551	7,551
少数株主持分	19,630	17,231
純資産合計	2,794,736	2,731,133
負債純資産合計	3,147,094	3,022,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	107,634	118,861
売上原価	59,373	67,005
売上総利益	48,260	51,856
販売費及び一般管理費	109,805	123,116
営業損失(△)	△61,544	△71,259
営業外収益		
受取利息	376	1,491
助成金収入	302	-
為替差益	480	-
受取補償金	-	7,690
その他	132	138
営業外収益合計	1,291	9,320
営業外費用		
支払利息	601	495
為替差損	-	1,306
その他	-	4
営業外費用合計	601	1,805
経常損失(△)	△60,854	△63,745
特別損失		
固定資産売却損	171	-
特別損失合計	171	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,025	△63,745
法人税、住民税及び事業税	611	1,369
法人税等合計	611	1,369
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△61,637	△65,114
少数株主損失(△)	-	△2,399
四半期純損失(△)	△61,637	△62,715

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△61,637	△65,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	1,512
その他の包括利益合計	339	1,512
四半期包括利益	△61,298	△63,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,298	△61,203
少数株主に係る四半期包括利益	-	△2,399



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。